

重 要

福応寺の 新型コロナウイルス対策について

ご家族全員にお読みいただき、保管をお願いします

目次

●はじめに(コロナと共に)●	2ページ
●基本対応策●	3ページ
●各種お勤めの対応詳細について●	
[1. 月参り・七日経について]	4ページ
[2. お盆の棚経・お彼岸経について]	4ページ
[3. 法事について]	5ページ
[4. 枕経・通夜・葬儀について]	6ページ
[5. 新盆内施餓鬼について]	6ページ
[6. 山門施餓鬼について]	7ページ
【資料】方広寺(本山)よりの通達	8ページ

はじめに(コロナと共に)

今般の新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、檀信徒の皆様の安全確保、感染予防、感染拡大防止の観点から、福応寺での各種法務は安心安全の場で手を合わせていただけるように本冊子記載の対策を行います。

この内容は、(公財)全日本仏教会からの要望や、福応寺の本山である方広寺派宗務本院より通達されました「新型コロナウイルス感染拡大防止のための施策」に沿いながら、責任役員(総代)会で協議した上で、福応寺としての対応を決めさせていただきました。

ご供養・お参りはもちろん大切なことですが、
**今一番大事なことは「感染しない・させない」こと、
「大切な方の命を守る」こと**です。

不安な日々を送っている檀信徒の皆様に
安心安全の場で手を合わせていただくこと
が、非常に大切だと考えます。

お約束の日程に発熱・体調不良の自覚がある場合、お勤めの延期や変更なども遠慮無くお申し付けください。不安な毎日ですが、少しでも感染リスクが下がるように対策をして参りたいと思います。

例えば、法事であれば『代表者・家族等の少人数で行う』、『住職一人で代理で執り行う』、『コロナ終息後に延期して開催する』というように様々な選択が出来ます。また対応策にて示させていただいたとおり、本堂での三密を避ける法要にてリスクもかなり下げることが出来ます。

とはいえ、不安があれば安心安全の場で手を合わせていただくということも大切です。例えばですが、ご希望があれば(事前にお伝え下さい)ZOOMやインスタライブやLINEライブ等のツールを使い、

- オンライン動画配信でのリモート参加にての法要
- 代理で法事を行う際に動画撮影をして後日データを送る

等のご対応もできるように努力致します。

コロナ収束まで長期間になるでしょうから、目を背けたり、また、立ち向かうでもなく、「コロナと共に(With Corona)」暮らしていけるように、お寺としても様々な工夫をして柔軟に対応していきます。いつでもご相談下さい。また、添付資料の内容について、ご不明、ご不安なことがございましたら、いつでもお問い合わせ・ご相談下さい。

宗教法人福応寺 代表役員 小川昌久 拝

以下は令和2年5月1日よりコロナ感染の終息もしくは治療方法が確立されるまでの対応です

※コロナ終息後は、通常通りのお勤めに戻させていただきます

※コロナの感染状況・社会情勢等によって変更させていただく場合もございます

福応寺のコロナ基本対応策

【お寺（福応寺）として】

- 本堂入り口にアルコール消毒液等をご用意します。
- 寺族はマスク着用にてご対応します。
- 本堂の参列者の間隔は十分に距離を取って配置します。
- 本堂の窓は常に開けたまま換気をしつつ（夏や冬はエアコンをつけて）お勤めします。
- マスク着用のままの参列を推奨します。
- お茶のご接待は中止します。

【住職がお勤めする際のお約束】

- 読経中もマスクをします。
- お伺い（お勤め）する前に手指のアルコール消毒をします。
- 出来る限り距離をとるようにします。
- お茶はご遠慮させていただきます。

各種お参りのお勤めについての詳細

[1. 月参り・七日参りについて]

月参り・七日参りにつきましては、ご自宅での読経は中止させていただきます。

・希望者は、福応寺本堂にてご自宅のお位牌をお持ちいただきお勤めします。

もしくは

・住職が一人でお寺のお位牌の前でお勤めします。

ご自宅ですと三密(密閉・密集・密接)の環境を避けることが難しいからです。またご自宅でお待ちいただいている檀家様でご高齢の方が多くいらっしゃいますので『命を守る』ことを重視しての苦渋の決断です。

福応寺本堂にて、本堂の窓は常に開けたまま換気をしつつ(夏や冬は窓をあけたままエアコンをつけて)、三密にならないようにしてお勤めいたします。また、本堂入り口にはアルコール消毒液を設置し、皆様が触れる箇所はアルコール・次亜塩素酸等で定期的に消毒いたします。

◎皆様方には本堂入口での手指アルコール消毒とマスク着用での入堂を必ずお願いいたします。

[2. お盆の棚経・お彼岸経について]

盆・両彼岸のお経につきましては、ご自宅での読経は中止させていただきます。

・希望者は、福応寺本堂にてご自宅のお位牌をお持ちいただきお勤めします。

もしくは

・住職が一人でお寺のお位牌の前でお勤めします(お盆に付きましては、後日、施餓鬼旗を郵送します)。

ご自宅ですと三密(密閉・密集・密接)の環境を避けることが難しいからです。

僧侶は職業柄不特定多数の方に多くお会いする職業です。(もちろんコロナ以前から「うがい」「手洗い」「アルコール消毒」等相当気をつけております)

特にお盆・両彼岸のお経周りは、約1か月間かけて、ほぼ毎日10軒～20軒を続けてお勤めいたしますので、気が付かずに感染させてしまうリスクが月参り・七日参りよりも高いと思われます。また、ご自宅でお待ちいただいている檀家様でご高齢の方が多くいらっしゃいますので『命を守る』ことを重視しての苦渋の決断です。

その代わり、お盆・お彼岸の都度、皆様方のご希望を伺った上(案内・返信葉書)で、各々の時間が被らないように時間割を設定して、福応寺本堂にお位牌を持ってきていただきお勤めいたします。

福応寺本堂にて、本堂の窓は常に開けたまま換気をしつつ(夏や冬は窓をあけたままエアコンをつけて)、三密にならないようにしてお勤めいたします。また、本堂入り口にはアルコール消毒液を設置し、皆様が触れる箇所はアルコール・次亜塩素酸等で定期的に消毒いたします。

◎皆様方には本堂入口での手指アルコール消毒とマスク着用での入堂を必ずお願いいたします。

[3. 法事について]

法事につきましては、全て福応寺本堂にてのお勤めとさせていただきます。

(※福応寺本堂は全て椅子席で業務用エアコンが完備されております)

※住職一人で代理でのお勤めも可能です。

※ご自宅からオンラインでのリモート参加にての法要も対応します。

ご自宅ですと三密(密閉・密集・密接)の環境を避けることが難しいからです。

福応寺本堂にて、本堂の窓は常に開けたまま換気をしつつ(夏や冬は窓をあけたままエアコンをつけて)、間隔を空けて座っていただき、焼香の際も間隔を空けていただく等、空間を広く使っていただき三密にならないようにしてお勤めいたします。また、本堂入り口にはアルコール消毒液を設置し、皆様が触れる箇所はアルコール・次亜塩素酸等で定期的に消毒いたします。

◎皆様方には本堂入口での手指アルコール消毒とマスク着用での入堂を必ずお願い

いたします。

◎本堂でのお茶出しは中止いたします。

◎また法事後の精進落とし(お斉)は、しばらく避けていただくのがよろしいかと思
います。

[4. 枕経・通夜・葬儀について]

枕経・通夜・葬儀は、マスクを着用し通常通りお勤めさせていただきます。

葬儀の規模や参列者の差配はコロナウイルスの感染状況を鑑みて喪主様がお決め下さい。
こちらからも葬儀会社様に依頼して極力三密を避けるようにしていただきます。

◎皆様方には参列時にマスクの着用を必ずお願いいたします。

◎また葬儀後の精進落とし(お斉)は、しばらく避けていただくのがよろしいかと思
います。

[5. 新盆内施餓鬼について]

新盆内施餓鬼は、マスクを着用し通常通りお勤めさせていただきます。

※福応寺本堂にお位牌をお持ちになってのお勤めも可能です。読経後、ご供養
した施餓鬼旗をお渡ししますのでご自宅の祭壇に吊して下さい。

※住職一人で代理でのお勤めも可能です。後日、施餓鬼旗を郵送します。

ご自宅にお伺いする際は、マスク着用・手指のアルコール消毒をいたします。

新盆内施餓鬼の規模や参列者の差配はコロナウイルスの感染状況を鑑みてお施主様がご決め下さい。

◎皆様方には室内の換気とマスクの着用を必ずお願いいたします。

[6. 山門施餓鬼について]

山門施餓鬼は、マスクを着用し通常通りお勤めさせていただきます。

※お寺に任せて頂き代理でのお勤めも可能です。後日、山門施餓鬼供養のお塔婆をお渡しします(もしくはお墓にお塔婆を建てます)。

ただし、三密を避けるために以下の対策を取らせていただきます。

例年ですと新盆各家5名までの参列でしたが、代表者2名様までの参列と致します。出頭寺院も例年10名程の和尚様と共に盛大にお勤めさせていただいておりましたが、導師・維那・魚鱗の3名でお勤めさせていただきます。

福応寺本堂にて、本堂の窓は常に開けたまま換気をしつつ(夏や冬は窓をあけたままエアコンをつけて)、間隔を空けて座っていただき、焼香の際も間隔を空けていただく等、空間を広く使っていただき三密にならないようにしてお勤めいたします。また、本堂入り口にはアルコール消毒液を設置し、皆様が触れる箇所はアルコール・次亜塩素酸等で定期的に消毒いたします。

◎皆様方には本堂入口での手指アルコール消毒とマスク着用での入堂を必ずお願いいたします。

◎本堂でのお茶出しは中止いたします。

一 般 寺 院 中
令 和 2 年 4 月 1 5 日



新型コロナウイルス感染拡大防止のための施策

既に各社報道などによって周知されている通り、世界的な感染拡大となり現在のところ収束の目途は立っていません。方広寺派としてもこの危機感を共有する必要があると考え、全日本仏教会や各宗派の指針を踏まえ、別記の通り感染拡大防止策を提案することと致しました。鎮静化するまでの間、行事事法要などで感染防止に最大限の注意を払うことは寺院の社会的責任でもあります。檀信徒に理解と協力をうながすとともに、住職や寺族も口常的な自己管理を徹底し、媒介者とならないように行動する必要があります。ウイルス感染を正しく理解し対策することは、差別や偏見の不拡散にも繋がるはずです。再確認のためにも指針を列挙しましたので、ご参考下さい。

■葬儀、法要などでの感染拡大を防ぐために

- 1、住職や寺族が感染しない、または感染源とならないために
 - ・3密が重なるような場所を避ける（密閉・密集・密接）
 - ・アルコール系や次亜塩素系消毒液、もしくは洗剤による手・指消毒の励行
 - ・発熱、咳、呼吸困難、倦怠感、味・嗅覚障害等がある場合は活動しない
- 2、法要会場での注意
 - ・玄関や本堂などへの消毒液設置（設置不可能な場合は石鹸手洗いのすすめ）
 - ・参加者（会葬者）の座席間隔をできるだけ空ける
 - ・法要参列者にマスク着用をうながし、情侶の着用にも理解を求める
 - ・焼香の間隔を空ける
 - ・充分な換気を行う
 - ・法要や法話の内容充実と時間の短縮に努める
 - ・法要後の出齋（飲食など）の自粛

3、その他

- ・必要に応じては上記事項を説明の上、法要などの延期または縮小も提案する

- ・伝行事は中止するだけではなく、できるだけ工夫して継続する
- ・下記のホームページもご参照ください
 - ① 厚生労働省「新型コロナウイルスに関するQ&A（関連業種向け）」
 - ② 東京都葬祭業協同組合「新型コロナウイルス感染ご遺体の対応」

■方広寺での新型コロナウイルス感染防止対策

- 1、諸行事の中止および縮小、延期
 - ・開山毎歳忌の縮小（内局のみで修法させて頂きます）
 - ・本山檀参の延期（5月に実施予定でしたが、10月に延期いたします）
 - ・本派寺庭婦人会総会の中止
 - ・浜松別院での月例坐禅会を当面中止（方広寺HPと別院掲示板にて広報）
- 2、本山窓口業務などの対応
 - ・来客、電話などの応対は通常通り
 - ・入山受付窓口は10時から15時までとし、時間外は講社にて受付
 - ・禅寺体験（坐禅・写経など）は当面は受入れ不可
 - ・精進料理の提供は厨房従事者に衛生管理を徹底させ、来客者にも並列座席や除菌の励行をうながす
 - ・ご祈禱、諸供養などは通常通り受付
 - ・末寺よりの進達書類の受付および辞令などの伝達も如常
- 3、その他
 - ・方広僧等は例年通り5月1日入制、規矩に則って開山厳修
 - ・別院坐禅会の代替としても、安永管長宛下の10分間法話などを随時「YouTube」にて配信（方広寺HP上で準備中）

末寺でできること、本山でできることなどを挙げてみました。管長殿下も、「自費は大事だが、萎縮してはならない」と仰いましたが、その通りこの危機でしか学べぬことを学び、次に備えることが大切なこととです。感染と健康に留意して、僧侶の自分と法理を歪めず、萎縮することなく、今やれることに精進致しましょう。

以上、普告します